

辻委員（共産）

平成 31 年 2 月 28 日
教育長 答弁 実録
（教育委員会）

（問）教員に占める正規教員の割合について

文部科学省の資料には、配置されている教員の中に占める正規教員の割合も示されており、広島県の割合は 90.5%と、かなり低位にある。90.5%しか正規採用者がいないということは、約 1 割は最初から定数内の臨時的任用を見込んでいるということではないか。私は、かねてから広島県の「多すぎる定数内臨時的任用」の問題を指摘し、解消を求めてきたが、定数内臨時的任用の割合は、わずかの減少はあっても基本的には高水準が維持されてきた。ここに大胆にメスを入れなければ、教員未配置の問題は解決できないのではないかと思うが、併せて教育長に所見を伺う。

（答）

安定した学校運営を行うためには、できる限り、本務者を配置することが望ましいと考えております。

このため、定数内の臨時的任用教員に係る課題の解消につきましては、段階的に取り組む必要があると考えており、本年 4 月の採用予定者数の公表にあわせて、正規教員の確保に向けた中長期的な計画をお示しし、今後の採用予定者数に、反映させてまいりたいと考えております。

さらに、定年退職者等に対し、再任用による勤務を繰り返し働きかけ、正規教員の確保に努めてまいります。